

## 北方領土の野生動物

北方領土の周辺は暖流（日本海流）と寒流（千島海流）が交わり、魚介類の宝庫となっています。またこれらをえさとする海の獣や海鳥をはじめとして、野生動物の豊かな生態系が育まれています。



提供：根室市歴史と自然の資料館 森 利博氏

### 【ラッコ】

北方領土は、北太平洋に生息するラッコのユーラシア大陸側南限の生息地となっており、主に択捉島・歯舞群島で生息が確認されています。長い間毛皮がねらわれ、人間によって絶滅寸前となっていました。択捉島近海などでは少しずつ生息数が回復しています。

### 【エトプリカ】

アイヌ語で「美しくちばし」を意味する、オレンジ色の大きくちばしを特徴とする海鳥。日本国内ではほかに北海道東部にごくわずかに確認されるのみですが、北方四島では群れで海面に漂う姿がよく目撃されています。



提供：NP0北の海の動物センター 小林 裕之氏



提供：NP0北の海の動物センター 小林 裕之氏

### 【ヒグマ】

夏から秋にかけては産卵のために川をさかのぼるサケ・マスを捕食して冬眠に備え、冬眠から目覚めるとセリ科の植物や木の実を食べます。日本国内では他に北海道にのみ生息していますが、択捉島や国後島では生息密度も高く、身体のかなな個体も多く生息しています。



提供：NP0北の海の動物センター 小林 裕之氏

### 【アザラシ】

北方四島では歯舞群島を中心にゼニガタアザラシやゴマフアザラシが生息しています。流水のない岩場で定住生活をし、回遊魚やエビ・イカなど北方四島周辺の豊富な魚介類をエサとしています。



提供：NP0北の海の動物センター 小林 裕之氏

### 【シャチ】

シャチには一か所に留まって魚を食べるタイプと、海獣を求めて回遊するタイプの2種類がいて、どちらも群れをつくって暮らしています。シャチは北方四島近海食物連鎖の頂点に立つ動物で、小さい回遊魚やプランクトンをねらって集まるアザラシやミンククジラまでエサとしてしまいます。

### 【トド】

トドはアシカ科の中で最も大きい種類であり数頭から数百頭の群れを作って海を回遊して暮らしています。北方四島には千島列島や樺太から回遊してくると言われています。



提供：NP0北の海の動物センター 小林 裕之氏